

平成30年度 ハンギングバスケット教室

～ハンギングバスケット教室を開催することによって～

目的

- ・鳥取県特産の花壇苗生産について知識を深めてもらうこと！
- ・花育体験を通して花を育てる楽しみや喜びの発見に加え、園・学校生活を共にする仲間同士の連帯感等も養うこと！
- ・本体験が花壇苗を生活の中に取り入れるきっかけとなることにより、花き需要の促進及び本県の花き産業の進展に寄与することこと！
(国産花きイノベーション推進事業を活用)

平成30年度は4校（103名）で開催（予定）

| | | | |
|--------|----------|-----|-----|
| 9月 6日 | 日野高等学校 | 2年生 | 12名 |
| 10月 2日 | 米子高等学校 | 2年生 | 4名 |
| 10月22日 | 鳥取湖陵高等学校 | 2年生 | 11名 |
| 11月19日 | 河北小学校 | 6年生 | 76名 |

講師の紹介

実施した日野高等学校と米子高等学校の様子を紹介します！

講師はとっとり花回廊のスタッフの皆さん



使用花材

県内の花壇苗生産者等が栽培したジニア、サンブリテニア、ユーフォルビアダイアモンドスターなど、季節にあった花材を使用しました。

体験の様子



最初に県内の花壇苗生産やハンギングバスケットについて学びました。

ハンギングバスケットとは、つりかごなど空中につり下げられる容器に植物を植え付け飾る空間の演出方法の1つです。空中に浮かべて植物を飾ることで、スペースが有効に活用できたり、植物が目線の高さ近くになるため、寄せ植え等とはまた異なる印象を観賞者に提供できます。

実は、鳥取県は花壇苗の大産地！



● :花壇苗生産者



日野高等学校

生産者から皆さんへ花壇苗生産・販売の面白さについてお話いただきました

作成の手順（前半）は???

- ①スリット型バスケットの内側にスポンジを貼付
- ②貼り付けたスポンジの粘着面に土をつける。
- ③バスケットの鉢底に培養土を3cmほど入れる
- ④完成形をイメージしながら花苗を選択



①隙間がないようにスポンジを貼り付けてっ!!



②べたべたがとれるまで土をしっかりとつけて・・・



使用する苗はほぼ県内産！



日野高等学校

④全体のポイントを考えながら苗を選びます。

米子高等学校

作成の手順（後半）は???

- ⑤根は内側、花が外側になるように、スリットに花苗を入れていく
- ⑥1段目の花苗植付けが終了したら、花苗が隠れる程度の土を入れる
同様に2段目、3段目と繰り返す
- ⑦乾燥防止、表土の流出防止のために、水苔を敷き詰め終了



ジャ、ジャン!!
完成

完成したハンギングバスケットは各高校で展示され、水やりや花がら取りなどの栽培管理を高校生の皆さんに行っていただいています。



完成作品披露



日野高等学校



米子高等学校

高校生の皆さんの感想

- ・思っていたよりもきれいにできて良かったです。楽しかったのでまたやってみたいです。
- ・鳥取県が花壇苗の大産地と初めて知れた。ハンギングバスケットでほかの皆の作品が見れて勉強になったし楽しかった。
- ・やったことない事だったけど楽しかったです。もともと花に興味があったけど今日の体験で、もっと興味を持てました。

終わりに

当初戸惑いも見られましたが、後半になればなるほど、生き活きと各自が創意工夫して、オリジナリティー溢れる作品をつくりあげてくださいました。「またやりたい!」という声があちらこちらで飛び交うなど、この教室に参加いただいた高校生が発端となり、ハンギングバスケットの県内への広がり、ひいては花の需要創出への繋がりが期待されます。